

平成28年度行政評価シート【個表】

平成 28 年 6 月 30 日

評価対象事業		評価者	学務課担当課長	池田 徹
教育-23 学校保健事務		<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	学務課
		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	学校教育	施策の方針	安全・安心で開かれた学校づくり

1 事業の目的

対象	市立小・中学校の児童生徒
意図	児童生徒の健康の保持増進のため。
効果	学校保健の円滑な実施と成果の確保を図る。

2 平成27年度に実施した事業の概要

児童生徒の健康の確保・増進を図るため。各種検診や保健指導などを実施した。

3 事業費等基礎データ

データ区分	26年度決算	27年度決算	データ区分	28年度当初予算	備考	
人口等のデータ	人口	177,464人	人口	176,869人	・各年3月31日 (住民基本台帳)	
	世帯数	80,368世帯	世帯数	80,928世帯		
	事業の対象者数	11,501人	事業の対象者数	11,451人		
運営資源状況	決算値(千円)	58,814	決算値(千円)	58,532	当初予算(千円)	63,535
	国県支出金			国県支出金		
	地方債			地方債		
	その他			その他		
	一般財源	58,814	58,532	一般財源	63,535	
事業経費運営	人員配置数	1.5	人員配置数	1.3	人員配置数	1.5
	人件費(千円)	11,226	人件費(千円)	10,072	人件費(千円)	11,701
	総事業費(千円)	70,040	総事業費(千円)	68,604	総事業費(千円)	75,236
	市民1人当りの経費(円)	395	市民1人当りの経費(円)	387	市民1人当りの経費(円)	425
	対象者1人当りの経費(円)	6,090	対象者1人当りの経費(円)	5,952	対象者1人当りの経費(円)	6,570

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効率性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	9. 実施が義務付けられており(法廷受託事務等)、ニーズに応じて実施する事業ではない
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、廃止・休止はできない
	今後も市が実施すべき事業か	9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、今後も市が実施する必要がある
有効性	事業の成果は得られているか	9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、成果を計ることはなじまない
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入
		△-2. 受益者はいるが、今後も公費により全額市が負担すべきものである
協働		○-2. 既に市民等と協働して適切に事業を実施している
	市民等と協働して事業を展開しているか	○.協働実施済 協働実施済の場合のパートナー 鎌倉市医師会・鎌倉市歯科医師会・鎌倉市薬剤師会

事業内容の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒	見直しの種類	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大	見直しの内容	医師会や歯科医師会、薬剤師会と連携し協力体制をとりつつ、養護教諭とも協議や説明会などを実施し、法改正に伴う新たな健診に対応しつつ、手引きの作成など、事務改善に努めながら事務の効率化を図っていく。
	<input type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする		<input type="checkbox"/> 縮小		
	<input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する		<input type="checkbox"/> その他		
	<input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒				事業へ統合

予算規模の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	学校保健事務は主に学校保健安全法に定められた事務であり、対象となる児童生徒数や必要な器具の数等によって予算規模が拡大する。しかしながら、見込数の精査等を行うことにより必要最小限の拡大に努める。
	<input type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする		
	<input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する		

総評(評価に対する考え方、根拠等)	法改正や社会環境の変化に伴い、学校保健における医師会、歯科医師会及び薬剤師会と緊密な連携が必要となってきたため、今後も意見交換等を実施し、業務の効率化を図っていく。また、養護教諭との関係においてもあらゆる機会を捉えて協議や説明会等を実施し、効率的な業務運営を図っていく。
-------------------	---

平成27年度事業実施にあたっての課題(前年度未解決の事項を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 学校保健安全法の一部改正により、定期健康診断の項目について検討を行う必要があり、引き続き医師会、歯科医師会及び薬剤師会との連携や協力体制を強化し、学校や養護教諭との連携・協議を行いながら進めていく必要がある。 学齢簿システム導入に伴い改定した就学時健診通知書や、事務の方法などについて検証が必要である。 	
課題解決のために行った平成27年度の取組	<ul style="list-style-type: none"> 学校保健安全法の一部改正により、平成28年4月から定期健康診断の項目が一部変更となり、その対応について医師会や学校、養護教諭と協議を行った。また、新たな健診項目である「四肢の状態」検査の実施については、学校医や学校関係者を対象とした研修を開催し、検診に向けた準備を行うとともに、保護者への周知など対応を図った。 学齢簿システム導入に伴い改訂した就学時健診通知書や、事務の方法等についての検証を行った。 	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	<ul style="list-style-type: none"> 新たな健診項目について、実施状況の確認と検証を行う。 定期健康診断に係る帳票等について、医師会、歯科医師会と引き続き調整を行う必要がある。 	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項										
団体名	鎌倉市									
他市実績										
比較事項										
団体名	鎌倉市									
他市実績										
比較事項										
団体名	鎌倉市									
他市実績										
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方										

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	学校保健会理事会の開催数						単位	回	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
学校保健関係者が協議連携を図る場として、開催が必要であるため。	目標値	2	2	2	2	2	2				
	実績値	2	2								
	達成率	100.0%	100.0%								
指標の内容	養護部会との定期健康診断打合せの回数						単位	回	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
新年度の定期健康診断について、手引きを示しながらの全校養護教諭との打合せが必要であるため。	目標値	1	1	1	1	1	1				
	実績値	1	1								
	達成率	100.0%	100.0%								
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方											

● 事業に関する特記事項

<input type="checkbox"/> 第3期基本計画前期実施計画重点事業	<input type="checkbox"/> 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
--	---